

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2024年11月14日

近鉄グループホールディングス株式会社
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

I	2025年3月期 第2四半期（中間期）決算概要	・・・	2
II	2025年3月期 通期業績予想	・・・	18

I 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

中間連結損益計算書

(単位：百万円,%)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率	増減要因
営業収益	803,623	853,363	49,740	6.2	「セグメント別業績」参照
営業利益	43,060	39,504	△ 3,555	△ 8.3	「セグメント別業績」参照
営業外収益	5,476	5,679	203	3.7	
うち持分法による投資利益	982	1,072	89	9.1	
営業外費用	8,027	7,317	△ 709	△ 8.8	シンジケートローン組成費用の減等
うち支払利息	4,874	5,567	692	14.2	
経常利益	40,509	37,867	△ 2,641	△ 6.5	
特別利益	1,733	4,812	3,079	177.7	工事負担金等受入額 2,676 連結子会社における退職年金制度変更 386
特別損失	3,202	4,726	1,523	47.6	工事負担金等圧縮額 2,672 特別調査費用等 △515
親会社株主に帰属する中間純利益	23,858	21,824	△ 2,034	△ 8.5	

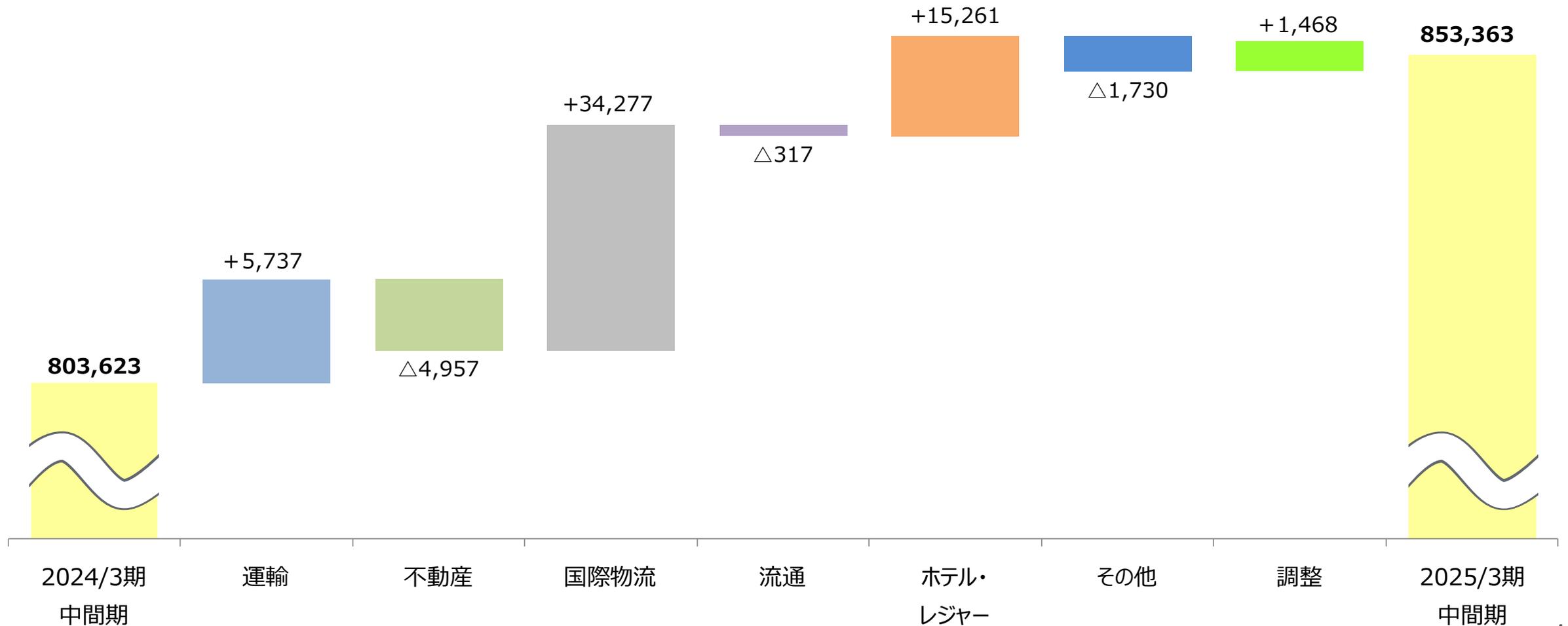
連結子会社数 196社（前期末比増減なし）

持分法適用会社数 9社（前期末比2社減）

決算ポイント（営業収益）

アフターコロナの旅客需要、消費需要の回復や、円安進行に伴うインバウンド需要の増加などによる運輸業やホテル・レジャー業の増収に加え、運輸業のうち鉄軌道部門で定期運賃改定の効果が本年は期首から寄与し、国際物流業で取扱物量の増加と販売価格の上昇が進み増収となったため、不動産業でのマンション分譲戸数減少による減収を差引き、連結全体で増収

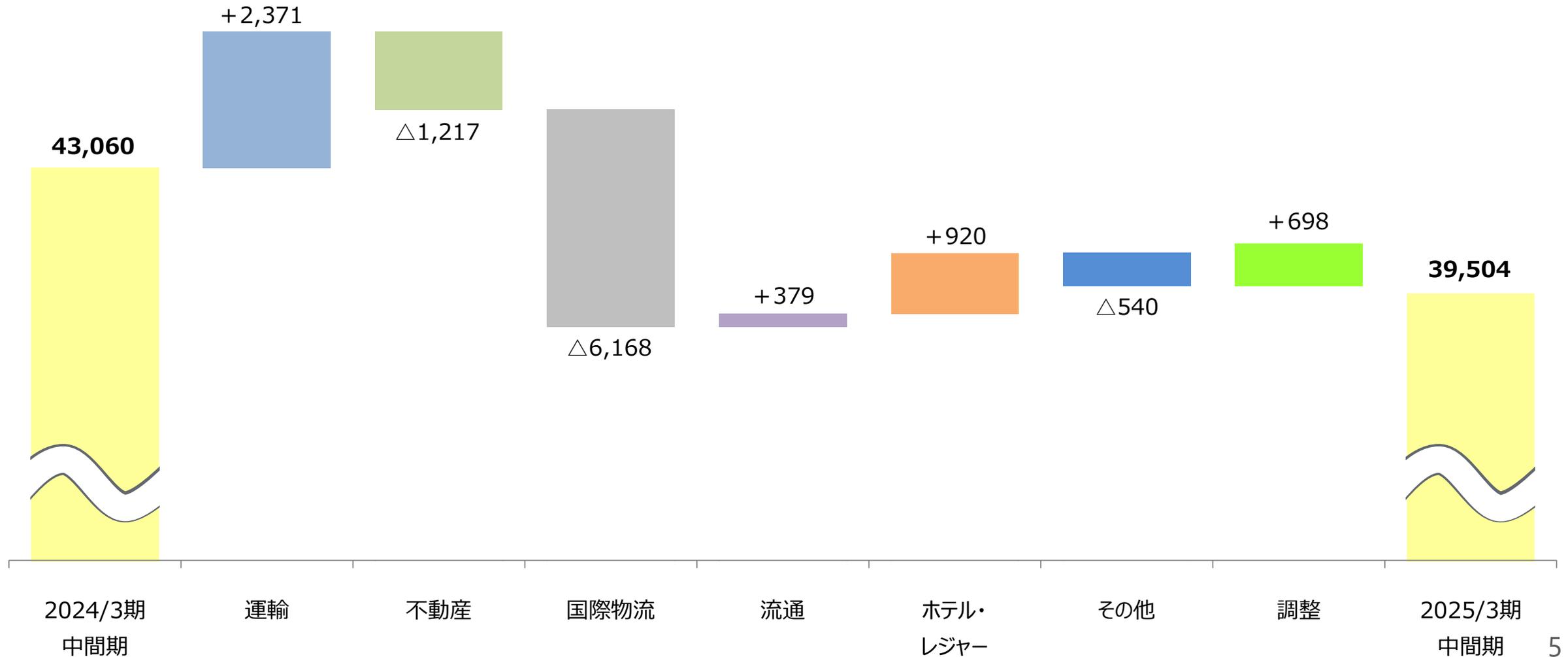
(単位：百万円)



決算ポイント（営業損益）

不動産業での減益に加え、国際物流業で運賃原価の高騰により利益率が低下したこと等により、連結全体で減益

（単位：百万円）



セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率
運 輸	営業収益	102,437	108,174	5,737	5.6
	営業損益	12,799	15,170	2,371	18.5
不 動 産	営業収益	79,259	74,301	△ 4,957	△ 6.3
	営業損益	8,473	7,255	△ 1,217	△ 14.4
国際物流	営業収益	363,021	397,299	34,277	9.4
	営業損益	10,862	4,694	△ 6,168	△ 56.8
流 通	営業収益	105,436	105,119	△ 317	△ 0.3
	営業損益	2,387	2,767	379	15.9
ホテル・レジャー	営業収益	154,916	170,177	15,261	9.9
	営業損益	6,756	7,677	920	13.6
そ の 他	営業収益	20,395	18,664	△ 1,730	△ 8.5
	営業損益	2,333	1,793	△ 540	△ 23.1
調 整	営業収益	△ 21,842	△ 20,374	1,468	
	営業損益	△ 552	146	698	
連 結	営業収益	803,623	853,363	49,740	6.2
	営業損益	43,060	39,504	△ 3,555	△ 8.3

(単位：百万円,%)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率
営業収益	102,437	108,174	5,737	5.6
鉄軌道	74,739	79,336	4,597	6.2
バス	16,063	17,386	1,323	8.2
タクシー	4,856	4,955	98	2.0
鉄道施設整備	7,600	8,045	444	5.9
その他運輸関連	6,096	6,032	△ 63	△ 1.0
調整	△ 6,919	△ 7,582	△ 663	
営業損益	12,799	15,170	2,371	18.5
(主な内訳) 鉄軌道	11,251	13,614	2,362	21.0
(主な内訳) バス	831	1,038	206	24.8

《鉄軌道》

- 好調なインバウンド需要に加え伊勢志摩等への観光需要も回復傾向にあり、さらに前年4月に実施した定期運賃改定の効果が本年は期首から寄与するため、増収増益

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率(%)
〈収支〉				
営業収益 (百万円)	76,948	80,372	3,424	4.5
鉄軌道事業	74,739	79,336	4,597	6.2
旅客収入	71,673	75,945	4,272	6.0
定期外収入	48,010	50,533	2,523	5.3
定期収入	23,662	25,411	1,749	7.4
運輸雑収等	3,065	3,391	325	10.6
その他事業	2,208	1,035	△ 1,173	△ 53.1
営業損益 (百万円)	11,266	13,570	2,304	20.4
〈運輸成績〉				
輸送人員 (千人)	265,140	265,816	676	0.3
定期外	98,790	102,482	3,692	3.7
定期	166,350	163,334	△ 3,016	△ 1.8

(単位：百万円,%)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率
営業収益	79,259	74,301	△ 4,957	△ 6.3
不動産販売	41,289	34,650	△ 6,638	△ 16.1
不動産賃貸	19,726	20,080	354	1.8
不動産管理	19,984	21,446	1,461	7.3
調整	△ 1,741	△ 1,876	△ 134	
営業損益	8,473	7,255	△ 1,217	△ 14.4
(主な内訳) 不動産販売	3,385	2,338	△ 1,046	△ 30.9
不動産賃貸	4,581	4,331	△ 250	△ 5.5

«不動産販売»

- ・ マンション分譲戸数が減少したこと等により減収減益

(単位：百万円,%)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率
営業収益	363,021	397,299	34,277	9.4
日台韓	99,127	106,544	7,416	7.5
米州	47,310	46,703	△ 607	△ 1.3
欧州・中近東・アフリカ	27,253	26,687	△ 565	△ 2.1
東アジア	48,962	55,945	6,982	14.3
東南アジア・オセアニア	42,897	55,236	12,339	28.8
APLL	106,108	115,512	9,404	8.9
その他	3,003	3,364	360	12.0
調整	△ 11,641	△ 12,694	△ 1,052	
営業損益	10,862	4,694	△ 6,168	△ 56.8
日台韓	3,847	2,774	△ 1,073	△ 27.9
米州	4,088	2,100	△ 1,987	△ 48.6
欧州・中近東・アフリカ	1,927	159	△ 1,767	△ 91.7
東アジア	916	622	△ 293	△ 32.1
東南アジア・オセアニア	1,442	1,055	△ 387	△ 26.8
APLL	2,187	1,632	△ 555	△ 25.4
その他	298	195	△ 102	△ 34.4

(主な内訳)

《国際物流》

- 取扱物量の増加と販売価格の上昇が進んだため増収となったものの、運賃原価の高騰により利益率が低下したため減益

		2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率(%)
〈収支〉					
営業収入	(百万円)	363,021	397,299	34,277	9.4
(主な内訳) 航空貨物輸送 海上貨物輸送 ロジスティクス	航空貨物輸送	127,328	134,376	7,048	5.5
	海上貨物輸送	101,442	121,170	19,727	19.4
	ロジスティクス	112,102	117,719	5,616	5.0
営業総利益	(百万円)	58,891	57,575	△ 1,316	△ 2.2
営業損益	(百万円)	10,862	4,694	△ 6,168	△ 56.8
〈物量〉					
航空輸出重量	(千トン)	242	255	12	5.1
海上輸出物量	(千TEU)	365	363	△ 2	△ 0.6

(単位：百万円,%)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率
営業収益	105,436	105,119	△ 317	△ 0.3
百貨店	56,067	55,808	△ 258	△ 0.5
ストア・飲食	49,368	49,310	△ 58	△ 0.1
調整	—	—	—	
営業損益	2,387	2,767	379	15.9
(主な内訳) 百貨店	1,349	1,872	523	38.8
ストア・飲食	1,038	894	△ 143	△ 13.8

《百貨店》

- あべのハルカス近鉄本店におけるインバウンド向け免税売上が増加し、ハルカス開業10周年イベントも好調であったものの、前年の大口内装工事売上の反動減が上回り、減収
- 営業利益は、利益率改善等により増益

《ストア・飲食》

- 駅ナカ店舗やレストランで利用客が増加したものの、一部のスーパーマーケット店舗の建て替え等により減収減益

(単位：百万円,%)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減率
営業収益	154,916	170,177	15,261	9.9
ホテル	19,229	21,881	2,651	13.8
旅行	124,516	134,422	9,905	8.0
映画	1,833	1,795	△ 38	△ 2.1
水族館	5,166	5,580	413	8.0
観光施設	4,170	6,567	2,397	57.5
調整	—	△ 69	△ 69	
営業損益	6,756	7,677	920	13.6
（主な内訳）				
ホテル	781	1,244	463	59.3
旅行	3,306	2,237	△ 1,068	△ 32.3
水族館	2,238	2,393	155	7.0
観光施設	257	1,632	1,374	533.4

《ホテル》

- ・ インバウンド需要の増加等により宿泊利用が大きく増加したため増収増益

《旅行》

- ・ 旅行需要は回復している一方で、旅行業以外の業務受託の減により増収減益

《観光施設》

- ・ 志摩スペイン村の入場者数が大きく増加したため増収増益

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期 中間期	増減	増減要因
流動資産	720,811	693,386	△ 27,425	
固定資産	1,731,615	1,736,186	4,570	
うちのれん	59,264	57,641	△ 1,623	
資産合計	2,454,316	2,431,407	△ 22,908	
流動負債	713,284	731,202	17,917	短期借入金 12,081、社債 9,000
固定負債	1,155,381	1,099,961	△ 55,420	長期借入金 △25,943、社債 △23,568
負債合計	1,868,666	1,831,163	△ 37,502	
純資産合計	585,650	600,243	14,593	
うち利益剰余金	202,990	215,276	12,285	純利益 21,824、配当金 △9,523
うちその他の包括利益累計額	138,729	137,101	△ 1,627	退職給付に係る調整額 △1,944
負債・純資産合計	2,454,316	2,431,407	△ 22,908	
純有利子負債残高	1,001,088	1,028,526	27,437	
借入金	864,839	850,977	△ 13,862	
社債（コマーシャルペーパー含む）	372,054	357,485	△ 14,568	
リース債務（IFRS第16号による計上分を除く）	31,164	28,951	△ 2,213	
現金及び預金(△)	△ 266,970	△ 208,887	58,082	

- 2025/3期から、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日）等を適用しております（過年度に遡及適用し、2024/3期末時点の累計で固定負債が2,552百万円減少・利益剰余金が2,552百万円増加）

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,622	37,259	△ 60,362
うち、税金等調整前中間純損益	39,039	37,953	△ 1,086
うち、売上債権及び契約資産の増減額	50,406	△ 9,798	△ 60,204
うち、仕入債務の増減額	△ 11,185	△ 531	10,654
うち、棚卸資産の増減額	△ 8,560	△ 15,501	△ 6,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21,312	△ 47,662	△ 26,349
うち、投資有価証券の売却	11,196	5,217	△ 5,978
うち、固定資産の取得による支出	△ 28,367	△ 46,470	△ 18,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 71,132	△ 48,978	22,153
うち、借入金・社債の増減額	△ 50,458	△ 29,165	21,292
現金及び現金同等物の増減額	15,798	△ 59,120	△ 74,919
現金及び現金同等物の期首残高	208,188	241,657	33,469
現金及び現金同等物の中間末残高	223,992	182,537	△ 41,455

(単位：百万円)

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	増減要因
設備投資	19,986	32,061	12,075	
運輸	7,564	10,371	2,806	
(うち鉄軌道)	(6,689)	(9,351)	(2,662)	新型一般車両等
不動産	1,782	11,048	9,265	志摩グリーンアドベンチャー等
国際物流	5,293	4,869	△ 424	
流通	2,535	3,446	910	
ホテル・レジャー	1,272	1,460	188	
その他	1,325	610	△ 714	
調整	211	254	42	

減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減
運 輸	減価償却費	12,702	13,575	873
	EBITDA	25,502	28,746	3,244
不 動 産	減価償却費	4,800	4,812	11
	EBITDA	13,273	12,068	△ 1,205
国際物流	減価償却費	6,080	6,721	640
	EBITDA	18,566	13,038	△ 5,527
流 通	減価償却費	3,570	3,210	△ 359
	EBITDA	5,962	5,977	15
ホテル・レジャー	減価償却費	1,124	1,355	231
	EBITDA	7,880	9,032	1,152
そ の 他	減価償却費	931	1,043	112
	EBITDA	3,264	2,837	△ 427
調 整	減価償却費	109	145	36
	EBITDA	△ 443	291	734
連 結	減価償却費	29,318	30,864	1,545
	EBITDA	74,006	71,993	△ 2,013

- ・ 減価償却費には、IFRS第16号による計上分を含まない
- ・ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (IFRS第16号による計上分を除く) + のれん償却費

Ⅱ 2025年3月期 通期業績予想

- 2024年度は、国内の人流回復や円安効果によるインバウンドの増加が見込まれるなど、流通・ホテル・旅行・レジャー等のB to C事業領域での需要が回復基調で推移すると想定する。
- 一方で、地政学リスク、金利上昇リスクおよび円安・ドル高傾向の継続による物価上昇リスク等による経済活動・個人消費への影響が懸念される。
- 2024年問題を含め人手不足は大きな課題であり、人財確保に向け引き続き一定程度の人件費の増加を想定する。
- 国際物流業は、取扱物量については回復基調にあるものの、半導体関連や電子部品の輸送需要回復が想定より鈍く、当期中の本格的回復には至らないと見込んでいる。また、仕入運賃価格の上昇が見込まれるものの、販売価格への転嫁が進むと想定している。

運 輸	▶ 鉄軌道 2024年度下半期の輸送人員は前年と同水準と想定（通期も同水準）
国際物流	2024年度下半期の営業収入は対前年ベース約120%と想定 2024年度下半期の為替レートは1USDドル = 約153円と想定
流 通	▶ 百貨店 2024年度下半期の売上高は対前年ベースで微増と想定（通期でも微増）
ホテル・レジャー	▶ ホテル 2024年度下半期の直営ホテル売上高は対前年ベースで微増と想定（通期では約110%） ▶ 旅行 2024年度下半期の売上高は、対前年で国内旅行約110%（通期でも約110%）、海外旅行約125%（通期では145%）と想定

連結業績予想

(単位：百万円,%)

	2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	増 減	増 減 率	当初予想 (2024年5月公表)	増 減
営業収益	1,629,529	1,790,000	160,470	9.8	1,780,000	10,000
営業利益	87,430	88,000	569	0.7	88,000	—
経常利益	84,638	80,000	△ 4,638	△ 5.5	79,000	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	47,808	45,000	△ 2,808	△ 5.9	44,000	1,000
持分法による投資利益	2,285	1,000	△ 1,285	△ 56.2	1,000	—
支払利息	10,224	12,500	2,275	22.3	12,500	—

- 2025/3期から、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日）等を適用しております（過年度に遡及適用し、2024/3期通期実績の親会社株主に帰属する当期純利益が265百万円減少）

【主な増減要因】 ※営業収益・営業損益の詳細は次ページ以降を参照ください

- 経常利益 営業外損益で持分法投資利益の減や支払利息の増等により減益見込み

セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	増 減	増 減 率	当初予想 (2024年5月公表)	増 減
運 輸	営業収益	211,897	217,000	5,102	2.4	213,000	4,000
	営業損益	32,295	31,100	△ 1,195	△ 3.7	27,500	3,600
不 動 産	営業収益	157,518	173,000	15,481	9.8	182,000	△ 9,000
	営業損益	15,114	14,500	△ 614	△ 4.1	15,200	△ 700
国際物流	営業収益	733,823	840,000	106,176	14.5	824,000	16,000
	営業損益	17,592	16,000	△ 1,592	△ 9.0	20,600	△ 4,600
流 通	営業収益	212,070	218,000	5,929	2.8	217,000	1,000
	営業損益	5,776	7,600	1,823	31.6	7,400	200
ホテル・レジャー	営業収益	318,710	354,000	35,289	11.1	352,000	2,000
	営業損益	13,477	15,000	1,522	11.3	13,500	1,500
そ の 他	営業収益	38,558	36,000	△ 2,558	△ 6.6	36,000	—
	営業損益	3,567	2,500	△ 1,067	△ 29.9	2,500	—
調 整	営業収益	△ 43,049	△ 48,000	△ 4,950		△ 44,000	△ 4,000
	営業損益	△ 393	1,300	1,693		1,300	—
連 結	営業収益	1,629,529	1,790,000	160,470	9.8	1,780,000	10,000
	営業損益	87,430	88,000	569	0.7	88,000	—

《運 輸》

- 営業収益は、鉄軌道部門でインバウンド需要の増加により定期外収入の増を見込むほか、定期収入において運賃改定の効果が期首より寄与すること等により増収を予想
- 営業利益は、鉄軌道部門で人件費の増や、一般車両の代替新造など積極的な設備投資による償却費の増を織り込み減益を予想

《不動産》

- 営業収益は、不動産販売部門でマンション分譲戸数の増加を見込むほか、不動産賃貸部門でオフィスビル等が堅調に推移していること等により増収を予想
- 営業利益は、不動産販売部門で売上原価や経費の増を織り込み減益を予想

《国際物流》

- 営業収益は、取扱物量の回復を見込むほか、仕入運賃価格の上昇に伴う販売価格の上昇を見込むため、増収を予想
- 営業利益は、運賃原価の上昇に伴う利益率低下を見込むため、減益を予想

《流 通》

- 百貨店部門でインバウンド向け免税売上の増加やハルカス開業 10 周年イベントが好調であること等により増収増益を予想

《ホテル・レジャー》

- ホテル部門でインバウンド需要の増加を背景に稼働率と平均客室単価の上昇を見込むほか、旅行部門で旅行需要の回復による国内外への団体旅行や訪日旅行の取扱い拡大等や、観光施設部門で志摩スペイン村の入場者数の大幅な増加を見込むため、増収増益を予想

《運 輸》

- 営業収益は、鉄軌道部門でインバウンド需要の増加により定期外収入が好調に推移するため、増収増益を予想

《不動産》

- 不動産販売部門でマンション販売戸数が計画を下回る見込みのため、減収減益を予想

《国際物流》

- 仕入運賃価格の上昇に伴う販売価格の上昇を見込むものの、原価上昇に伴う利益率の低下を見込むため、増収減益を予想

《流 通》

- 百貨店部門でインバウンド向け免税売上の増加を見込むため、流通業全体では増収増益を予想

《ホテル・レジャー》

- ホテル部門で宿泊部門が好調に推移するほか、水族館部門でインバウンド需要の増加による入館者数の増加を見込み、観光施設部門で志摩スペイン村の入場者数の増加を見込むため、増収増益を予想

	2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	増 減	増減率(%)	当初予想 (2024年5月公表)	増 減
〈収支〉						
営業収益 (百万円)	155,947	159,750	3,803	2.4	156,119	3,631
鉄軌道事業	153,027	157,986	4,958	3.2	154,306	3,679
旅客収入	146,332	150,730	4,398	3.0	148,184	2,546
定期外収入	98,212	100,960	2,747	2.8	98,334	2,626
定期収入	48,119	49,770	1,651	3.4	49,850	△ 79
運輸雑収等	6,695	7,255	559	8.4	6,122	1,132
その他事業	2,919	1,764	△ 1,154	△ 39.6	1,812	△ 47
営業損益 (百万円)	28,427	27,194	△ 1,232	△ 4.3	23,763	3,430
〈運輸成績〉						
輸送人員 (千人)	521,835	519,851	△ 1,984	△ 0.4	521,755	△ 1,904
定期外	201,640	203,903	2,263	1.1	200,058	3,845
定期	320,195	315,948	△ 4,247	△ 1.3	321,697	△ 5,749

		2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	増 減	増減率(%)	当初予想 (2024年5月公表)	増 減
〈収支〉							
営業収入	(百万円)	733,823	840,000	106,176	14.5	824,000	16,000
営業総利益	(百万円)	116,459	124,000	7,540	6.5	131,100	△ 7,100
営業損益	(百万円)	17,592	16,000	△ 1,592	△ 9.0	20,600	△ 4,600
〈物量〉							
航空輸出重量	(千トン)	486	516	29	6.1	540	△ 23
海上輸出物量	(千TEU)	727	738	10	1.5	780	△ 41

設備投資 純有利子負債残高

(単位：百万円,倍)

	2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	増 減	当初予想 (2024年5月公表)	増 減
設備投資	60,785	93,000	32,214	90,000	3,000
運 輸	31,525	39,500	7,974	39,000	500
（うち鉄軌道）	(29,023)	(33,000)	(3,976)	(33,000)	(-)
不動産	8,175	26,500	18,324	19,500	7,000
国際物流	10,665	9,000	△ 1,665	12,000	△ 3,000
流 通	5,248	7,000	1,751	9,000	△ 2,000
ホテル・レジャー	4,098	7,500	3,401	8,000	△ 500
その他	2,210	2,500	289	2,500	-
調 整	△ 1,138	1,000	2,138	0	999
純有利子負債残高	1,001,088	1,030,000	28,911	1,030,000	-
EBITDA	150,922	156,500	5,577	152,000	4,500
純有利子負債 / EBITDA	6.6	6.6	-	6.8	△ 0.2

- 純有利子負債 = 借入金・社債・リース債務 - 現金及び預金
- EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 (IFRS第16号による計上分を除く) + のれん償却費

減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	増 減
運 輸	減価償却費	26,374	28,500	2,125
	EBITDA	58,669	59,600	930
不 動 産	減価償却費	9,606	10,000	393
	EBITDA	24,721	24,500	△ 221
国際物流	減価償却費	12,594	13,500	905
	EBITDA	33,434	33,000	△ 434
流 通	減価償却費	7,046	6,500	△ 546
	EBITDA	12,828	14,100	1,271
ホテル・レジャー	減価償却費	2,370	3,500	1,129
	EBITDA	15,848	18,500	2,651
そ の 他	減価償却費	2,007	2,500	492
	EBITDA	5,575	5,000	△ 575
調 整	減価償却費	238	500	261
	EBITDA	△ 155	1,800	1,955
連 結	減価償却費	60,238	65,000	4,761
	EBITDA	150,922	156,500	5,577

- ・ 減価償却費には、IFRS第16号による計上分を含まない

お問合せ先

総合政策部

Tel : 06-6775-3478

Fax : 06-6775-3467

Mail : ir-info@rw.kintetsu.co.jp